

講義名	対)19-日本語総合A/15-日本語基礎【留学生科目】			授業形態	
担当教員	上仲 淳	開講期・曜日・時限	前期 月曜日 3時限		
		単位数	2	履修開始年次	1年生

**主題と概要**

学部留学生として大学生活に必要な日本語能力を身につけるため、この授業では基本的な文法項目の意味や使い方を学ぶ。また、文法知識を学ぶだけでなく、実際の日本語でのコミュニケーションや作文などのように使われるかを考える。

**到達目標**

大学における学習活動に役立つように、文法構文の意味理解だけでなく、運用もできるようになる。また、適切な日本語で表現したり、課題ができるようになる。

**提出課題**

ワークシート、宿題など、授業内もしくはポータル上で随時指示する。

**課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法**

各学生に課したテストや課題について、一人一人にチェックおよびコメントを行い、また、全体としての講評・解説等も行ってフィードバックをする。

**評価の基準**

授業への参加度（30%）、授業内発表（10%）、中間試験（30%）、期末試験（30%）

**履修にあたっての注意・助言他**

出欠は毎回とする。  
 全授業回数の1/3以上欠席した場合は、試験を受けることができない。  
 遅刻3回で1回欠席とする。  
 15分以上の遅刻は欠席となる。  
 真面目かつ積極的な授業参加を望む。

**教科書**

.使用しない。

**参考図書**


**その他**

日本語総まとめ文法シリーズ等のプリント資料を配布、もしくはウェブ資料を利用する。

**授業計画**

- 第1回 授業に関するオリエンテーション（授業の進め方、スケジュール、評価の方法、注意事項）
- 第2回 受身表現、準備を表す表現など
- 第3回 判断を表す表現、習慣を表す表現など
- 第4回 意志や予定を表す表現、強請を表す表現など
- 第5回 手段や原因を表す表現、名詞に関する表現など
- 第6回 説明する表現、禁止の表現など
- 第7回 受身の表現、立場を表す表現など
- 第8回 中間試験
- 第9回 回数を表す表現、意外性を表す表現など
- 第10回 結果を表す表現、帰属表現など
- 第11回 対象を表す表現、場所を表す表現など
- 第12回 仮定を表す表現、逆接の接続詞など
- 第13回 仮定の接続詞、論議を表す表現など
- 第14回 動作を表す表現、状況を表す表現など
- 第15回 期末試験

**授業形態（アクティブ・ラーニング）**

<input type="radio"/> ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
<input type="radio"/> ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
<input type="radio"/> オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
<input type="radio"/> キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

**準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間**

各資料に関して、語句の読みや意味調べなどの予習を、1時間行ってください。また、復習に特に力を入れてください。音読すると記憶に定着しやすいです。そしてなにより普段から日本語の文章に親しむこと（毎回3時間）

**卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連**

「豊かな社会の実現に貢献できる意欲と能力を持ったビジネスパーソン」等になるための基礎能力として、必要な日本語能力を身につけ、活用することができる。

**双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述**

**実務経験の有無及び活用**

**備考**

新型コロナウイルス感染症の感染者、または、濃厚接触者に指定され、一時的に通学が禁止となった場合は、教員にメール等で必ず連絡すること。その後、授業に関する説明とともに課題が出されるので、必ず提出すること。